

発行所
青森県高等学校・障害児
学校教職員組合
青森市橋本1丁目2-25
教育会館017(734)7287
編集発行人 酒田 孝
購読料一部20円は組合費
の中に含む

**青森県職員の給
与等改善勧告を
求める署名
9月15日まで!**

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>

静岡を感じ、子どもの未来を熱く語った集会

No image

開会集会でのミニ
コンサート

～みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい～

開会集会でのミニコンサート

全体企画のシンポジウム「憲法と教育を語る」は、清水雅彦さん(大学教授憲法学)、長尾詩子さん(ママの会・弁護士)、菅間正道さん(自由の森学園教員)の3人のパネリストによる議論が現実の矛盾を明らかにし、真実をついており、

現地企画の「しぞーか、まんさい」はまさに静岡の魅力満載でした。やささん、きたさんの司会で進められた開会集会は、写真でつづる静岡、平和を学びつくる若者エヴァーグリーン、ゆずりん(中山譲)のミニコンサートなど、見て聞いて踊りながら楽しむことができました。

全体会

初日は駿河湾を望む清水市で全体会が行われました。

8月19日、立秋が終わったとはいえ、灼熱の静岡の地でつどいは始められました。開会式のあった静岡市清水文化会館には全国津々浦々から約1200人の教師、保護者、高校生、大学生、大学教員などが集まりました。青森県からは、司会やレポートとして高教組から6人、県教組から5人、私教連から3人、一般1人の合計15人が参加しました。

憲法と教育の関係が心に落ちました。

主催者を代表して蟹澤昭三全教執行委員長が「教育のつどい2016」を通して、全国の珠玉の実践が交流され、参加されたみなさんの積極的な討論で深められ、それが再び全国に流れられていくことを心から願います」と挨拶をされました。

No image

開会集会終了後は「教育フォーラム」が開催され、参加者はそれぞれ興味のあるフォーラムに移動し学習を深めました。2日目、3日目は、それぞれ29の各分科会に分かれて、子どもの

分科会

2・3日目は静岡大学や静岡県立大学などを会場に29の分科会に分かれ学習しました。

英語分科会

英語分科会では、小学校〜高校の先生方による様々な実践のレポートが提出された。学び直しを取り入れ、生徒が自ら考え答えを出す工夫をなさっている高校教諭の方からは「誰の子も切り捨てない!」と強い思いが述べられた。また、小学校外国語活動の低年齢化に関する議論が行われ、英語免許の所持率の低さや、小学校教員の負担増など様々な問題点が話し合われた。

▼2面に続く

坂道の風

今年も8月6日から15日まで休暇を取り、原爆犠牲者や戦没者に慰霊の念を捧げることができた▼長崎平和祈念式典では被爆者代表が平和への誓いを述べているとき「国会及び政府に対しては、日本国憲法に反する『安全保障関連法制』を廃止し、アメリカの『核の傘』に頼らず...」のくだりで安倍首相の顔がアップになったことが印象的だった▼今年もオリンピックと日程が重なり、戦争に関する番組も例年よりも少なかったようだ。まさかと思

い東京オリンピックの日程を調べてみると7月24日が開会式、8月9日に閉会式となっていた▼オリンピックは平和の象徴だから問題ないと言ってしまうべきではないのだが、過去の戦争についての反省と慰霊の期間にわざわざ自国でスポーツの祭典をやるのはどうもしくくりこない。今さらどうにもならないだろうが、せめて広島・長崎を訪れる外国人が増えれば少しはオリンピックの開催の意義も出てくるだろうか。

▼1面から続く
生徒の実態に感じ、学び直しなどの基礎学力の定着も大切であり、少し難しく感じる課題を提示し、協力して課題解決に向かわせる工夫も大事であると学ぶことができ、充実した会であった。

あつた。非常に感動的で、涙をぬぐいながら聞く参加者もいた。戦後71年が経過し、戦争経験者の高齢化が著しい。戦争の話を通じて、戦者から聞くことができるのは、この数年で最後だろう。自分も取り組んでみようと思う。

する思いだった。
思春期・青年期の進路と教育分科会
ゼロトレランスの行われている中学校卒業後支援、就職先訪問などを丁寧に行っている定時制高校、特別支援学校の就職時における福祉制度の活用などのレポートが発表されました。

2018年度から高等学校でも特別支援に関わる通級指導が始まります。定時制高校にすら経済的理由で通えない「家庭の貧困」が深刻な問題になっていきます。思春期・青年期に向き合う学校教育と教職員のあり方について、一人ひとりの生徒に寄り添い、地域の様々な社会的資源と連携した取り組みの大切さについて話し合いを深めました。

私が参加した技術・職業教育分科会は、高校だけでなく、中学校での技術科のレポートもあった。高校では就業体験、実習でのインクルーシブ教育、東北大震災からの復興状況、電波望遠鏡の製作、エコデンレーズについて、中学校では製図や電気の授業の取組などが出された。中学校のレポートを聞いて、専門高校とは異なる教育目的を持っているものの、生徒を引きつける授業は勉強になった。また授業を作るために深く調べていることに脱帽

人事院は8月8日に、一般職国家公務員の給与等に関する報告と報告を内閣総理大臣と両院議長に対しておこないました。全国の粘り強い運動によって3年連続してベースアップを勝ち取ることができた一方で、扶養手当改悪が強行されました。

止することなどを盛り込むとともに、「税制及び社会保障制度の見直しの状況や民間企業における配偶者に係る手当の見直しの状況に感じ、国家公務員の配偶者に係る扶養手当について、必要な見直しを検討していく」としています。

社会科分科会

技術・職業教育分科会

教育分科会

人事院勧告

物価上昇に追いつかず

物価上昇に追いつかず

物価上昇に追いつかず

久しぶりに社会科分科会に参加させていただいた。今年初めて高校生が国政選挙に参加したことを受けて、模擬投票の取り組みなどの主権者教育に関するレポートが非常に多く、全国の先生方の意識の高さを感じた。強く印象を受けたのは、夏休みに生徒に戦争体験の聞き取りをさせたという中学校の歴史の実践で

私が参加した技術・職業教育分科会は、高校だけでなく、中学校での技術科のレポートもあった。高校では就業体験、実習でのインクルーシブ教育、東北大震災からの復興状況、電波望遠鏡の製作、エコデンレーズについて、中学校では製図や電気の授業の取組などが出された。中学校のレポートを聞いて、専門高校とは異なる教育目的を持っているものの、生徒を引きつける授業は勉強になった。また授業を作るために深く調べていることに脱帽

2018年度から高等学校でも特別支援に関わる通級指導が始まります。定時制高校にすら経済的理由で通えない「家庭の貧困」が深刻な問題になっていきます。思春期・青年期に向き合う学校教育と教職員のあり方について、一人ひとりの生徒に寄り添い、地域の様々な社会的資源と連携した取り組みの大切さについて話し合いを深めました。

今年4月における官民較差について、国家公務員給与が民間給与を「平均708円、0.17%」下回っていたとされています。そして、初任者から30歳程度までの号俸を1,500円引き上げ、その他についても400円程度のベースアップを行い、再任用職員の賃金もこれに準じた改定をおこなうことなどを報告しました。2015年度の消費者物価指数は、対前年比0.8%上昇しているのですが、0.17%の昇級では実質賃金は減少となります。また、中高年層は「給与の総合的見直し」により、現在も現給保障を受けているので、400円の引き上げでは実質的な賃上げにはなりません。

物価上昇に追いつかず
扶養手当について、経過措置を設けるものの配偶者にかかる手当を現行の13,000円を6,500円に引き下げ、子の手当を10,000円に引き上げること、行(一)9級・10級在職者については、子以外の扶養手当は支給しないこと、8級在職者については配偶者にかかる扶養手当を3,500円にすること、また、配偶者のいない者には扶養親族一人目に対する特例措置を廃

配偶者の扶養手当を2年で半減
止することなどを盛り込むとともに、「税制及び社会保障制度の見直しの状況や民間企業における配偶者に係る手当の見直しの状況に感じ、国家公務員の配偶者に係る扶養手当について、必要な見直しを検討していく」としています。

物価上昇に追いつかず

No image

No image

No image

月例給 0.17% 一時金 0.1%UP

配偶者の扶養手当を2年で半減

現行(2016年度)		2017年度	2018年度以降
配偶者	13,000円	10,000円	6,500円
子	6,500円	8,000円	10,000円
配偶者・子以外	6,500円	6,500円	6,500円
配偶者がいない場合はそのうち1人について	11,000円	子:10,000円 他:9,000円	特例廃止

扶養手当「見直し」

組合員同士の結びつきを深めよう!

東青支部定期大会&懇親会

8月2日、高教組東青支部総会が県教育会館で行われました。平成27年度の経過報告・会計決算、平成28年度の会計予算、運動方針について話し合われました。運動方針では本部定期大会で提案された「青森高教組組織3か年計画」を受けて、「定期大会」「教育のつどい」「中央委員会」に組合員が最低1回参加し、組合員同士の結びつきを深め、組合員の声を聞く機会にすることが提案・了

承されました。また、各校の多忙化問題や高校における政治教育の問題について話し合われました。各家庭に送付された年金ハガキについても議論が交わされ、東青支部で年金学習会の必要性を感じました。総会終了後は今年度新たに組合員加入された方も加わり、ねぶたの太鼓や笛の聞こえる中、懇親会が行われ、おおいに笑い、お

いい汗と懇親の夏の日

中南支部納涼会

8月10日、高教組中南支部納涼会が行われました。今年は高教組OBも交えて「ボウリング大会」を行いました。参加は現職7名、OB3名でした。ボウリング大会は某ビールメーカーとコラボしたコンペに参加する形式で、スコアに応じてビールがもらえるも

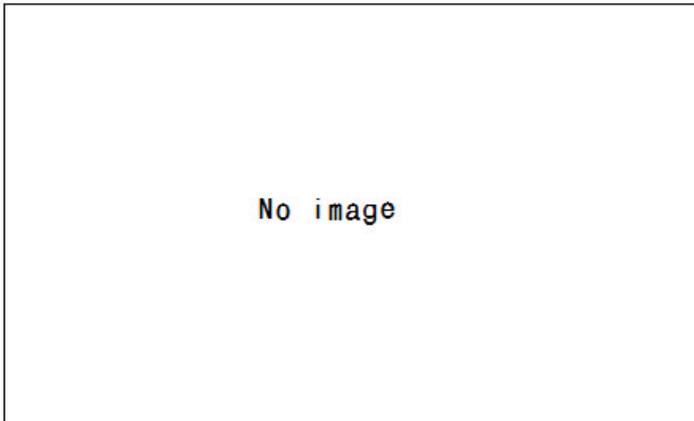
おいに飲み、楽しい時間を過ごすことができました。のでした。ねらい通りにストライクやスベアを取ってビールを獲得したり、高スコアでゲームを終えたりと、いい汗をかきながら楽しいひと時を過ごしました。ゲームの後は、焼き肉をつまみながら親睦を深めました。OBの方々の近況

主任手当拠出運動に御協力を!

1977年、文部省により特定の主任に手当をつけている制度が法制化されました。しかし、高教組は、「教職員は教育者として皆同等の立場であり、仲間である」とし、主任にだけに手当を支給することに反対しました。そこで、主任手当での一定額を拠出して

2010年度から始まった公立高等学校の授業料不徴収ですが、2014年度からは世帯収入に上限を設け、910万円を超える世帯はその対象となりました。国際人権規約の留保撤回と相まって国として掲げた「あなたの学びを社会全体で支えます」の理念が、現在は投げ捨てられています。

年度から県単独で始めました。これはいへんすばらしいことだと思えます。私たち高教組は、学校という職場は同僚性がとても大切であると考えます。一人のスーパーマン教師が活躍する職場よりも、働く仲間が全員子どもたちのために協力して助け合って仕事を成し遂げてこそ学校という職場はよくなっていくものであると思うのです。これからも主任手当の拠出にご協力いただけるようよろしくお願いいたします。



第66次教育研究青森集會

青森県教育のつどい2016

11月12日(土)~11月13日(日)
於: 浅虫温泉さくら観光ホテル

全体講演「子どもがつながる教育実践」
講師: 河地亜弥子氏
(神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授)

組合員には旅費・宿泊費・交流会費等補助あります!!

参加費: 1,000円(大学生以下無料)
宿泊・交流会費: 11,000円(交流会のみ7,700円)

全教障教部全国学
習交流集会に参加
しませんか?

2017年1月7日

9日、全教障害児学校&学級学習交流集会が開催されます。今回の会場は、北海道札幌市。全国から、障害児教育に関しての最新の実践報告を聞くことができます。インクルーシブ教育の推進が求められて、さらに、高等学校に通級指導教室の設置が議論が上がっている今こそ、この集会に参加して、最新の情報を学んでみませんか?障害児学校だけではなく、高等学校の先生方の参加も大歓迎。もちろん未組合員でもかまいません(組合員には交通費等の補助があります)。詳細については、後ほどおしらせしますが、新しい年の初めに、全国の仲間と交流を深めることを考えてみませんか。青森高教組本部までお問い合わせください。



なくそう!日米軍事同盟・米軍基地

日本平和大会in三沢

- 10月22日(土)
 - 12:00~ 三沢基地調査
 - 15:30~18:00 開会集会
 - 18:30~20:30 青年集会
- 10月23日(日)
 - 9:00~12:30 分科会・シンポ
 - 13:30~14:30 閉会集会・パレード

会場:三沢市公会堂他



日本平和大会とは、平和を脅かす根源にある日米軍事同盟と米軍基地をなくすことをめざす大会です。1986年以来、ほぼ毎年開催され、今年はこちら青森が会場です。旅費・宿泊費補助あります。折角の全国大会ですので、この機会に是非ご参加下さい!

全教 未来をひらくプロジェクト

ゆいま〜る

クリスマス

沖縄で過ごそう!

開催概要

- 12月23日(金)~12月26日(月)
 - 12月23日(金) 8:37 新青森発
 - 12月26日(月) 20:42 新青森着
- 仙台空港から名護、恩納村、那覇を回ります

ニュースにはならない沖縄高江の現実、辺野古基地前での座り込み…今、特に若い世代のみなさんに、この国で起きていることに目を向けて欲しい。そんな思いを込めたプロジェクトです。



組合員には、なるべく自己負担の少なくなるよう、補助を検討しておりますので、興味のある方は高教組迄ご連絡下さい。

詳しくは、配布チラシをご覧ください。

全教自動車保険

教職員のための自動車保険

えらんでもいいですか?

- 「被害者救済・加入者保護」の事故対応で教職員を守ります
- 教職員のための安心・充実の補償をご提供しています
- 教職員のカーライフをトータルでサポートします



全教自動車保険は、全日本教職員組合が東京海上日動と提携して実施する自動車保険です。

加入者の皆さん、
忘れていませんか?「給付申請」

火災共済
こんな時も給付!
「家は無事だったが、台風で車庫が壊れた…」



※ 加入内容や立地により、給付対象とならない場合もございます。

思い当たったら、すぐ電話!
→ 017-732-1375(青教共済)